

兵庫県神戸土木事務所・兵庫県灘警察署・神戸市・都賀川を守ろう会

都賀川への降り口には緊急時に閉鎖するためのゲートが設けられ、左の掲示板が設置されている。

災害から2年後の2010年に建立された都賀川水難事故の慰霊碑(灘区民ホールの対岸に設置)

安全利用の誓い

都賀川は、海までわずか1,800mの短い川ですが、多くの人達が お天気のいい日には、川に設けられた遊歩道を利用して散歩やジョギ ングを楽しんでいます。

私たちの小学校では、都賀川について学びます。魚のこと、植物のこと、 災害のことなどを自分たちで調べて、他の学校と一緒に「都賀川子ども フォーラム」で発表します。勉強の場所として、遊び場所として都賀川 は私達にとって、とても身近な川です。

以前、都賀川は汚れてくさい、誰も近づかない川だったと聞きました。 でも、30年以上も前に地域のみんなで掃除をしたり、"川に生物が暮らし やすいように整備したり、川の周りには公園をつくったりして、みんなの 協力で、自然豊かで、たくさんの人に親しまれる川になりました。

ところが、平成20年7月28日、突然の大雨で急に水かさが

増えて、悲しい出来事が起ってしまいました。

私たちは、改造で川の怖さを知りました。これから川で楽しく遊ぶ ために、次の約束を守ることを誓います。

- 雨の日は、川の水が増えて危ないので川には絶対に入りません。
- 晴れていても山の方向が急に暗くなったり、雷がなったり、突然雨が 降り出したりしたらすぐに川から上がります。
- 遊んでいても回転灯を時々見て、回っていたらすぐに川から上がります。
- 橋の下などでの雨宿りは絶対にやめ、すぐに川から上がります。

都賀川流城小学校児童



甲橋の下で憩う家族



甲橋に設置された回転灯とスピーカー

現在の都賀川



各橋の下に設けられた注意板



阪神電車大石駅から見た都賀川の上流側